

様式 C-4-1 [記入例]

機関番号				
1	2	3	4	5

平成20年度科学研究費補助金（基盤研究（B））の直接経費使用内訳変更承認申請書

平成20年〇〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇〇大学・〇〇学部・教授 ○ ○ ○ ○ [印]

平成20年度科学研究費補助金（基盤研究（B））について、下記のとおり使用内訳を変更したいのでご承認くださるようお願いします。

記

1. 課題番号

2	0	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---	---

2. 研究課題名

〇〇〇〇〇に関する研究

3. 交付決定額

16,900,000 円	①+②
うち直接経費	13,000,000 円
間接経費	3,900,000 円

4. 交付申請書に記載の費目別内訳

補助金額（合計）	間接経費額	直接経費			
		物品費	旅費	謝金等	その他
16,900,000円	3,900,000円	3,000,000円	2,000,000円	1,000,000円	7,000,000円

5. 変更（予定）後の費目別内訳

補助金額（合計）	間接経費額	直接経費			
		物品費	旅費	謝金等	その他
16,900,000円	3,900,000円	9,500,000円	2,000,000円	1,000,000円	500,000円

費目別内訳の明細	物品費				旅費	
	品名（仕様）	数量	金額	納入（予定）年月日	事項	金額
	〇〇〇〇	1台	2,000,000円	H20.9.10	研究打合せ	1,000,000円
	△△△△△	2台	6,000,000円	H20.10.20	研究成果発表	1,000,000円
◇◇◇◇◇	一式	1,500,000円	H20.11.22			
	合計		9,500,000円			2,000,000円
費目別内訳の明細	謝金等			その他		
	事項	金額		事項	金額	
	研究補助業務	1,000,000円		研究成果パンフレット作成	500,000円	
	合計	1,000,000円			500,000円	

6. 変更の理由

〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・のため。

様式 C-4-1 【作成上の注意】

1. この申請書は、交付決定後において補助条件（交付決定通知書参照）で「軽微な変更」として定められている範囲を超える直接経費の使用内訳の変更を計画している場合に事前に作成すること。
2. 研究代表者がA4判（縦長）で作成し、所属研究機関を経由して提出すること。また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写（この研究課題が使用内訳を変更している場合は、交付申請書及び当該使用内訳変更承認申請書の写）を一部添付すること。
3. 「3. 交付決定額」欄には、研究課題の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。